



Hewlett Packard
Enterprise

HPE OneView 5.4 リリースノート（HPE Synergy 用）

摘要

本書では、HPE OneView 5.4（HPE Synergy 用）の新機能、インストールとアップデート手順、および既知の制限事項について説明します。このリリースは、HPE OneView を搭載した HPE Synergy コンポーザーを使用する HPE Synergy 上のコンピュートモジュール、インターコネクト、およびストレージシステムの構成、管理、およびトラブルシューティングを行う管理者を対象としています。

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel[®]、インテル、Itanium[®]、Optane[™]、Pentium[®]、Xeon[®]、Intel Inside[®]および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft[®]および Windows[®]は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®]および Acrobat[®]は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java[®]および Oracle[®]は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX[®]は、The Open Group の登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。



目次

リリース情報.....	4
HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明.....	5
解決済みの問題.....	7
アプライアンスのアップデートとアップデート所要時間.....	9
アプライアンスのアップデートパスとリリースマイルストーン.....	10
問題と推奨処置.....	11
注記.....	18
Web サイト.....	20
HPE Synergy のドキュメントリソース.....	21
HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース.....	22
HPE Synergy ドキュメントの概要（ドキュメントマップ）	25
HPE OneView Remote Technician.....	27
サポートと他のリソース.....	28
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	28
アップデートへのアクセス.....	28
リモートサポート（HPE 通報サービス）	29
保証情報.....	29
規定に関する情報.....	29
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	30

リリース情報

このドキュメントでは、HPE OneView 5.4（HPE Synergy 用）のリリース情報を提供します。

対象読者	関連情報
すべてのユーザー	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明・ 解決済みの問題・ 問題と推奨処置・ 注記・ サポートと他のリソース

新しいアプライアンスをインストールするか、以前の HPE OneView バージョンからアップデートするユーザー。 [アプライアンスのアップデートとアップデート所要時間](#)

注記: HPE Synergy イメージストリーマーに関するお知らせ

HPE Synergy イメージストリーマーは、HPE OneView 5.4（HPE Synergy 用）と組み合わせる新規のバージョンはリリースしません。HPE OneView 5.4（HPE Synergy 用）は、HPE Synergy イメージストリーマー 5.20.01 バージョンをサポートします。

HPE OneView の詳細については、[Hewlett Packard Enterprise Information Library](#) を参照してください。

以前にリリースされた HPE OneView（HPE Synergy 用）の各種バージョンとアップグレードパスについては、[HPE Synergy ソフトウェアリリース](#) を参照してください。

❗ **重要:** この製品には、リリースされていない製品または機能への参照が含まれる場合があります。Hewlett Packard Enterprise は、そのような製品または機能を商業的にリリースまたはサポートしない権利を留保します。



HPE OneView のカスタマーエクスペリエンスの主な特長の説明

アプライアンスのアップデートのエクスペリエンス

・ HPE Synergy コンポーザーのアップデート機能強化

HPE OneView 5.3 以降からアップデートする場合、スタンバイアプライアンスが最初にアップデートされ、アクティブアプライアンスは環境の監視と管理に使用できる状態のままです。最初にスタンバイアプライアンスをアップデートすると、次の機能が強化されます。

- ・ 管理ダウンタイムが最長 35 分短縮されます*。

*注記：HPE Synergy コンポーザーによる内部テストに基づきます。

- ・ アップデートの信頼性の向上。スタンバイアプライアンスがアップデートを完了しなくなる可能性がある潜在的な問題が原因で、スタンバイアプライアンスが以前の HPE OneView バージョンに戻ります。

・ アップデート後の更新時間の短縮

HPE OneView 5.4 にアップデートした後、管理対象環境を表示するための更新時間が最長 20 分短縮されました*。更新時間が短くなったため、アップデート後に環境の管理をすばやく再開できます。

*注記：内部テストに基づいており、HPE Synergy コンポーザーおよび仮想マシンアプライアンスに適用されます。

・ HPE OneView Update Readiness Checker に追加された新しいチェック

HPE OneView Update Readiness Checker に新しいアイテムが追加されました。ベストプラクティスを実践するため、アプライアンスを HPE OneView 5.4 にアップデートする準備ができていることを確認するには、最新バージョンの HPE OneView Update Readiness Checker を使用してください。このツールは定期的にアップデートされており、最新バージョンは hpe.com/support/ov-urc から入手することができます。

ファームウェアアップデートのエクスペリエンス

・ HPE Synergy バーチャルコネクトのファームウェアアップデートの拡張 - 手動オーケストレーションモード

2 番目のパスのアップデートを選択する前に、必要に応じてロールバックをサポートしながら、1 つのパスをアップデートおよび検証できます。アプリケーションの正常性を検証し、アプリケーションの稼働時間を最大化するアップデートプロセスを制御できます。

・ HPE OneView SPP レポジトリの機能強化

再起動/アップグレード後に SPP が利用可能になるまでの待機時間を短縮し、SPP がオフライン状態になるインスタンス数を削減します。

サポートのエクスペリエンス

・ メンテナンスモードのサーバーの複数選択

管理者は、一般的な複数選択法（Ctrl または Shift キーを押しながら項目を選択）を使用して、同時に複数のサーバーのメンテナンスモードをすばやく有効または無効にできるようになりました。これにより、複数のサーバーハードウェアリソースでこの設定を個別に設定する必要が減少します。

・ 暗号化なしでの論理エンクロージャーサポートダンプの作成

管理者は、暗号化されていない論理エンクロージャーサポートダンプを作成して、個人を特定できる情報 (PII) を監査できるようになりました。これは、セキュリティが非常に厳しい場合に重要です。顧客サイトからサポートエンジニアにログファイルまたはデータを提供する前に、顧客情報を確認する必要があります。

- ・ **Advanced Support ダンプ - 論理エンクロージャー向けの選択肢**

管理者は、HPE 認定サポート担当者の指示に従って、ログファイルを収集する特定の論理インターコネクトリソースを選択することにより、サポートダンプのサイズを削減できます。

また、管理者は、アプライアンスサポートダンプを含めるか除外するかを選択することもできます。

- ・ **強化された LAG トラブルシューティング機能の提供**

アップリンクセットに関する詳細な LACP 情報を表示します。これは、LAG の問題のトラブルシューティングに役立ちます。

リモートサポート

- ・ **Remote Support アラートのダッシュボード表示 (RS チケットと通知)**

HPE OneView ダッシュボードに、デバイスの Remote Support チケット (ケース) と Remote Support 通知を表示するのに役立つ新しい Remote Support アラート棒グラフが組み込まれました。新しい棒グラフを使用すると、HPE OneView の監視対象および管理対象デバイスについてオープンのままのチケット、クローズ済みチケット、および対応するチケットが HPE データセンターにない推奨アクションが存在する Remote Support 通知を表示できます。アクティビティ画面に表示されるクローズ済みチケットのリストは、デフォルトでは昨年のもことになりますが、より関心のあるさまざまな時間枠でリストされた項目をフィルタリングできます。

- ・ **Remote Support チケットでのサーバーの場所の特定の改善**

大規模なデータセンターを所有しているお客様が、メンテナンスが必要なデバイスの場所を特定するための支援を求めてこられました。HPE OneView 5.4 では、Remote Support チケットとメール通知にラックの位置情報が記載されます。これにより、注意が必要なサーバーを特定し、そのデバイスをより簡単に見つけることができます。

インフラストラクチャのプロビジョニング管理エクスペリエンス

- ・ **LI のグループ操作からのアップデートの複数選択の有効化**

複数の論理インターコネクトを選択し、グループ操作から一括アップデートを実行します。1 回の操作で複数の LI の構成をアップデートできるようにすることで、操作が簡略化されます。

- ・ **LIG、LI、およびインターコネクトページのフィルタリング機能の強化**

インターコネクトタイプに基づいてすばやくフィルタリングします。これにより、タイプごとに適切なリソース (LIG、LI、インターコネクト) を見つけることができます。インストールファイルのサイズが増大し続けるので、この機能は重要です。

- ・ **Cisco ACI と HPE Fabric Manager の間の強化された自動修復プロセスの提供**

拡張 ACI 統合は、より多くのネットワークケースを処理します。拡張 ACI 統合には、LIG および LI のアップリンクセットでネットワークセットを使用してください。

- ・ **添付可能エンティティプロファイルによるエンドポイントグループの展開に対する Cisco ACI サポート**

添付可能エンティティプロファイル (AEP) 付き ACI エンドポイントグループ (EPG) をマップして、複数のインターフェイスに展開します。複数のインターフェイスに EPG を簡単に展開できます。管理オーバーヘッドを削減し、ポートを構成する効率的な方法を提供します。

解決済みの問題

このセクションでは、HPE OneView 5.4（HPE Synergy 用）で解決された問題を説明します。

- ・ 多数のボリュームアタッチメントを持つサーバープロファイルが、HPE OneView からサーバープロファイルを作成、編集、または削除するのに長時間を要する問題を解決しました。
- ・ ファームウェアのアップデート中に、サーバーをエンクロージャーから取り外すか、サーバーをエンクロージャーに再挿入すると、HPE OneView にデバイスベイ#の変更処理中に、予期しない問題が発生しました。エラーメッセージが表示され、
さらに、サーバーを取り外したときと同じベイにサーバーを再び挿入すると、サーバーを HPE OneView に正確に追加できなくなるという問題を解決しました。
- ・ HPE OneView が予期せず終了するか、新しいバージョンにアップデートできない問題を解決しました。この原因は、プロセスがアプライアンスの内部ディスク領域を冗長データで満たすためです。この問題はまれなシナリオで発生します。
- ・ アラート、解決策、および警告に関連するいくつかの UI メッセージが、HPE OneView 5.4 で強化されています。これには以下のような例があります。
 - ドライブの再初期化を提案するファームウェアアップデート操作の 1 つに関するサーバープロファイルページに表示されるエラーメッセージの解決策を修正しました。
 - HPE Synergy 12Gb SAS 接続モジュールの自己署名証明書の有効期限が切れたときに発生するアラートのエラーメッセージを強化しました。
- ・ ネットワークセットまたはアップリンクセットにネットワークを追加または削除しているときに、Fabric Manager の修復がタイムアウトし、論理インターコネクト構成の状態エラーが表示される問題を解決しました。この問題は、同じ VLAN が HPE Synergy と非 HPE Synergy 環境の両方で共有されている場合に発生します。
- ・ 強制オプションを使用しても HPE OneView から論理エンクロージャーを削除できない問題を解決しました。
- ・ 仮想ポートがサーバーハードウェアタイプ（SHT）のコンバージドネットワークアダプター（CNA）で利用できないため、サーバープロファイルを編集または適用できない問題を解決しました。
- ・ サーバープロファイルまたはサーバープロファイルテンプレートに 128 を超えるボリュームアタッチメントを追加すると、HPE OneView に必要なアップデートを確認できません - 内部サーバーエラーメッセージが表示される問題を解決しました。
詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。
- ・ ローカルルーターに無効なアドレス解決プロトコル（ARP）応答を送信すると、HPE OneView が断続的にアクセスできなくなる問題を解決しました。
詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。
- ・ HPE Synergy コンポーザーから HPE Synergy 用 HPE Virtual Connect SE 40Gb F8 モジュールをアップグレードしようとするタイムアウトする問題を解決しました。
- ・ HPE OneView に非準拠ファームウェアが長期間インストールされているか、または非準拠ファームウェアのコンプライアンスチェックのオプションを無効にしていた場合、アプライアンスをアップデートまたはアプライアンスバックアップをリストアできないという問題を解決しました。

- ・ 読み取り専用権限で、REST API 呼び出しを使用してリモート Syslog サーバーを構成しようとする
と、そのタスクはタイムアウトになるのに、手動で終了するまで Activity ログファイルでは実行中
になる問題を解決しました。
- ・ インターコネクトモジュールを取り外すか交換すると同時に、アプライアンスを再起動すると、HPE
OneView がインターコネクトモジュールイベントを受信しなくなる問題を解決しました。
- ・ サーバーに関連付けられているサーバーハードウェアタイプ (SHT) の名前に Flex という語が含ま
れていると、サーバープロファイルまたはサーバープロファイルテンプレートの複数の構成設定が失
われる問題を解決しました。
詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。
- ・ **サーバープロファイルとハイパーバイザークラスタープロファイル上のクラスターボリュームの追加
ダイアログボックスに、使用可能なすべてのストレージボリュームのためにボリュームまたはクラス
ターボリュームを追加するためのドロップダウンオプションが表示されない問題を解決しました。**
詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。
- ・ インターコネクトモジュールのファームウェアアップデートがタイムアウトし、結果として、論理イ
ンターコネクト内のすべてのインターコネクトモジュールが初期化状態のままになり、それ以上進行
しない、という問題を解決しました。
- ・ PowerShell を使用して論理インターコネクトグループ (LIG) を作成した後、UI で同じ LIG 設定を編
集すると内部エラーが発生する問題を解決しました。
- ・ REST API を使用して無効なネットワーク URI (Uniform Resource Identifier) をアップリンクセット
に追加すると、インターコネクトモジュールに構成エラー状態が発生する問題を解決しました。
- ・ HPE Synergy D3940 ストレージモジュールのファームウェアバージョンが、論理インターコネクト
(LI) に指定されたベースラインを下回っており、かつ対応する HPE Synergy 12Gb SAS 接続モジュ
ールのファームウェアバージョンが正しい場合、通常の LI ファームウェアアップデートを行おうとし
ても、HPE Synergy D3940 ストレージモジュールのファームウェアがアップデートされない問題を解決
しました。

アプライアンスのアップデートとアップデート所要時間

アップデートイメージファイルは、<https://www.hpe.com/downloads/synergy> の HPE Synergy ソフトウェアリリースで入手できます。

HPE Synergy コンポーザーをアップグレードするには、何回か再起動を実行する必要があります。アップグレードは、高可用性構成のアクティブコンポーザーとスタンバイコンポーザーの両方で実行されます。

HPE OneView 5.2 から HPE OneView 5.4 へのアップデート

アップデートを開始すると、まずアクティブなコンポーザーがアップデートされ、次にスタンバイコンポーザーのアップデートが自動的に開始されます。再起動を含め、アクティブとスタンバイのコンポーザーでアップグレードプロセスを完了するための合計時間は、HPE Synergy コンポーザー 2 の場合は 1.5 時間未満、HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）の場合は約 2 時間です。

❗ 重要:

- これらの進行中は、コンポーザーまたはコンポーネントを再起動したりリセットしたりしないでください。中断した場合は、バックアップからのリストアが必要になります。
- HPE OneView をアップデートする前に、HPE OneView Update Readiness Checker の最新バージョンをダウンロード、インストール、および実行して、HPE OneView の正常性を評価します。このチェッカーをダウンロードするには、<https://www.hpe.com/support/ov-urc> にアクセスしてください。

HPE OneView 5.3 から HPE OneView 5.4 へのアップデート

HPE OneView 5.3 以降は、アップデートを開始してから、まずスタンバイコンポーザーがアップデートされます。スタンバイコンポーザーのアップデートプロセス中、アクティブなコンポーザーを使用して HPE Synergy 環境を監視することはできますが、Hewlett Packard Enterprise では、管理操作を一切実行しないことをお勧めしています。スタンバイコンポーザーのアップデートが完了すると、アクティブコンポーザーはアップデートされたスタンバイコンポーザーに自動的にフェイルオーバーします。したがって、アップデートされたスタンバイコンポーザーが新しいアクティブコンポーザーになります。新しいスタンバイコンポーザーは、フェイルオーバープロセスの完了後に自動的にアップデートされます。再起動を含め、アクティブとスタンバイのコンポーザーでアップデートを完了するための合計時間は、HPE Synergy コンポーザー 2 の場合は 1.5 時間未満、HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）の場合は約 2 時間です。

新しいアップデートプロセスにより、アップデートの信頼性が向上し、管理ダウンタイムが 75%以上短縮されます。¹

- ### ❗ 重要:
- HPE OneView 5.3 以降、アクティブアプライアンスは、そのアップデート完了後にアップデートされたスタンバイアプライアンスに自動的にフェイルオーバーします。この時点で進行中のタスクは終了になります。

Hewlett Packard Enterprise では、管理操作を監視操作と読み取り専用操作に制限することをお勧めしています。

¹ 内部テストの観察 - 管理ダウンタイムの短縮は、HPE Synergy コンポーザー 2 でテストされています。新しいアップデートプロセスのダウンタイム（アップデートされたスタンバイコンポーザーにフェイルオーバーする合計時間）は、以前のアップデートプロセスのダウンタイム（アクティブコンポーザーをアップデートする合計時間）と比較しています。

詳細情報

- ・ アップデートについて詳しくは、[HPE OneView \(HPE Synergy 用\) ファームウェアおよびドライバーアップデートガイド](#)を参照してください。
- ・ バックアップとリストアについて詳しくは、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用](#)を参照してください。
- ・ HPE OneView Update Readiness Checker について詳しくは、[HPE OneView ユーザーガイド \(HPE Synergy 用\)](#)を参照してください。

アプライアンスのアップデートパスとリリースマイルストーン

アプライアンスのアップデートパス

HPE OneView は、バージョン 5.3 または 5.2 から 5.4 に直接アップデートすることができます。

リリースマイルストーン

HPE OneView 5.4 は、リリースマイルストーンです。今後は、HPE OneView 5.4 にアップデートしておかないと、それ以降のリリースにアップデートできなくなります。

リリースマイルストーンは、より高速で信頼性の高い HPE OneView アップデートを提供する強化されたアップデートアーキテクチャーを提供します。マイルストーンリリースは、次のリリースにアップデートする前の重要なステップであり、前提条件となります。将来のリリースは、HPE OneView 5.4 に組み込まれた新しいアップデートアーキテクチャーに依存します。

HPE Synergy コンポーザーのアップデートプロセスが変更されたため、HPE OneView 5.4 にはアップデートされたアーキテクチャーとその他の追加の機能強化が組み込まれています。



問題と推奨処置

バックアップイメージから HPE OneView 5.4 をリストアした後、サーバーのファームウェアをアップデートできない

問題：

HPE OneView 5.4 をバックアップイメージからリストアした後、外部レポジトリにベースラインとして追加されたファームウェアバンドルを選択して、サーバーのファームウェアをアップデートすると、アップデート操作がタイムアウトします。

原因：

バックアップからリストアした後、HPE OneView 5.4 は特定のファームウェアバンドルのファイルをリストアしません。これらのファイルは、サーバーファームウェアのアップデートを実行するために必要です。

推奨処置：

バックアップをリストアした後、次の手順を実行します。

1. HPE OneView から外部レポジトリを削除し、アプライアンスが外部レポジトリに存在するすべてのファームウェアバンドルを削除するまで待機します。
2. 外部レポジトリを HPE OneView に戻します。
3. すべてのファームウェアバンドルが外部レポジトリに追加されていることを確認してから、サーバーファームウェアのアップデートを再試行してください。

予期しない停電時、または適切なシャットダウンを行わずに HPE Synergy コンポーザーの電源を切った場合は、HPE OneView が自動的に再起動しない

問題：

予期しない停電があった場合、または HPE OneView を正常にシャットダウンする前に、HPE Synergy コンポーザーの電源をオフにした場合、アプライアンスは自力では再起動しません。アプライアンス Maintenance Console で、ルートパスワードを入力するか、またはキーボードの CTRL-D を押すように指示されます。

推奨処置：

次のいずれかの操作を実行します。

1. アプライアンスが起動プロセスを完了するまで、指示を受けるたびに、アプライアンス Maintenance Console にアクセスし、CTRL-D を押します。
2. HPE OneView バックアップを作成します。
3. アプライアンスを再イメージし、バックアップをリストアします。バックアップをリストアしない場合、次回再起動したときに、アプライアンスは再度 CTRL-D を押すように指示します。

詳しくは、[カスタマーアドバイザー](#)を参照してください。

iSUT 2.4.0 以降をインストールして、VMware ESXi 6.x または 7.x を実行している HPE ProLiant Gen10 サーバーまたは HPE Synergy Gen10 コンピュートモジュールのファームウェアまたはドライバーをアップデートすると、iSUT のメモリ使用量が不必要に増加する

問題：

HPE OneView のサーバーファームウェアまたはドライバーをアップデートするには、Integrated Smart Update Tools (iSUT) をインストールし、サーバーオペレーティングシステム上で実行する必要があります

す。ところが、iSUT を自動モードでインストールして、VMware ESXi 6.x または 7.x を実行している HPE ProLiant Gen10 サーバーまたは HPE Synergy Gen10 コンピュータモジュールのファームウェアまたはドライバーをアップデートすると、iSUT のメモリ使用量が不必要に増加します。

原因：

iSUT が自動モードで実行されている場合、1 日で約 400KB のメモリが消費されます。

詳しくは、[カスタマーアドバイザリ](#)を参照してください。

推奨処置：

[カスタマーアドバイザリ](#)で提案された解決策に従ってください。

SATA ドライブが直接接続され、AMS がインストールされているサーバーに、サーバーのドライブの場所とストレージ容量が表示される

問題：

HPE OneView UI および REST API が、システムボードに直接接続され、かつソフトウェア RAID 構成の一部ではないドライブについて、誤ったインベントリデータを表示します。UI に、サーバーのドライブの場所とストレージ容量の誤ったデータが表示されます。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

ソフトウェア RAID ボリュームを定義し、それらを HPE ProLiant Gen10 Plus サーバーの「ブート可能」ボリュームとしてマークする際に発生する問題

問題：

ブレード以外のサーバーでプロファイルを作成または編集しているとき、ソフトウェア RAID を使用して、ソフトウェア RAID ボリュームを「ブート可能」としてマークすることができません。これは、ソフトウェア RAID では UEFI ブートモードが必要ですが、ボリュームでブートを選択するにはレガシー BIOS モードが必要であるためです。ブート可能オプションを選択すると、HPE OneView は誤ったエラーメッセージを表示します。

推奨処置：

サーバープロファイルの編集集中に、以下を実行します。

1. ソフトウェア RAID ボリュームから起動するには、論理ドライブでブート可能を選択しないでください。
2. サーバープロファイルを適用します。
3. サーバーのブート順序を手動で操作します。

エンクロージャーのコールドブートを実行した後、電源をオフにされたインターコネクタモジュールに、エラー付きで追加済みメッセージが表示される

問題：

エンクロージャーを再起動する前に、電源オフ状態のインターコネクタモジュールを HPE OneView に追加すると、インターコネクタモジュールにエラー付きで追加済みメッセージが表示されます。

推奨処置：

以下の手順に従ってください。

1. メインメニューから、ネットワーク > インターコネクトを選択します。
2. エンクロージャーで使用可能なすべてのインターコネクトモジュールの UID ライトの電源をオンまたはオフにします。
3. 論理インターコネクトに移動し、エラー付きで追加済みメッセージを表示しているすべてのインターコネクトモジュールに構成を再適用します。

サポート対象外のバージョンからアプライアンスをアップデートしようとする、HPE OneView が誤ったエラーメッセージを表示する

問題：

HPE OneView 5.0 以前のバージョンから HPE OneView 5.4 にアップデートしようとする、アプライアンスがアップロードされたイメージファイルを検証できませんエラーメッセージを表示します。

推奨処置：

HPE OneView 5.4 のアップグレードでサポートされる最小バージョンは、HPE OneView 5.2 です。したがって、HPE OneView 5.2 以降のバージョンから HPE OneView 5.4 にアップグレードしていることを確認してください。

インストールとアプライアンスのアップデートについて詳しくは、[アプライアンスのアップデートとアップデート所要時間](#)を参照してください。

サーバープロファイルの適用後、HPE OneView が SUT がインストールされていることを認識しなくなる

問題：

Smart Update Tools (SUT) を使用してファームウェアバンドルと OS ドライバーと共にサーバープロファイルを適用すると、HPE OneView が新しいファームウェアベースラインがサーバー X で適用されています。Smart Update Tools が Y にインストールされていません。エラーメッセージを表示します。

推奨処置：

サーバープロファイルを更新します。

HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール（HPE Synergy 用）が IPv4 アドレスとして 0.0.0.0 を保持することがある

問題：

DHCP が有効になっている HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール（HPE Synergy 用）が、インターコネクトモジュールの起動時に DHCP サーバーに接続できない場合、その IPv4 アドレスがデフォルトで 0.0.0.0 になっています。静的 IPv4 アドレスを使用するようにインターコネクトを再構成しても、0.0.0.0 アドレスは置換されません。

推奨処置：

HPE Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュール（HPE Synergy 用）をリセットして、IPv4 アドレスを受信します。インターコネクトモジュールが DHCP を使用するように構成されている場合、インターコネクトを再設定する前に、DHCP サーバーにアクセスできることを確認してください。

QoS を編集するか、論理インターコネクトを再構成すると、インターコネクトが構成エラーになる

問題：

QoS の一部として構成された最大帯域幅は、最小帯域幅の値よりも小さくすることはできません。ところが、状況によっては、イーサネットネットワークの最大帯域幅が、同じダウンリンクポート上のネットワークの最小帯域幅の値よりも小さい値に設定されている場合に、この問題が発生する可能性があります。

推奨処置：

1. イーサネット接続と FCoE 接続の両方が同じ物理ダウンリンクポート上にあるサーバープロファイルを見つけます。
2. 最大帯域幅が FCoE 接続の要求帯域幅よりも小さい値に設定されているイーサネット接続がないか確認します。
3. イーサネットネットワークのリンクをクリックするか、ネットワークページでイーサネットネットワークを見つけます。
4. イーサネットネットワークの最大帯域幅を編集して、FCoE 接続の要求帯域幅より大きい値にします。
5. 論理インターコネクト構成を再適用します。

ToR スイッチが再起動されると、誤った LAG ステータスにより、[論理インターコネクト]ページでアラートがトリガーされる

問題：

アップリンク LAG のある ToR スイッチが再起動されると、HPE OneView の[論理インターコネクト]ページに、ToR の LAG ステータスがアクティブであるにもかかわらず、LAG ステータスがアクティブからスタンバイに変更されたという警告が報告されます。

推奨処置：

これは、手動でクリアできる誤ったアラートです。

Internet Explorer のコンテキスト依存ヘルプの制限

問題：

HPE OneView のコンテキスト依存ヘルプに、Internet Explorer のバナーと検索オプションが表示されません。

推奨処置：

この制限を回避するには、Google Chrome を使用します。

ダウンリンクポートの速度変動により、FCFA LUN の入出力 (IO) 動作が遅くなる

問題：

Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールで、ダウンリンク速度が 50G から 25G または 25G から 50G に変化すると、ダウンリンクポートに関連する構成がフラッシュされます。速度の変動が、FC トラフィックに影響を与えます。

推奨処置：

- ・ 論理インターコネクトのサービス品質 (QoS) 構成をパススルーまたはカスタム (FCoE ロスレスあり) のいずれかに変更するか、あるいは反対にカスタム QoS 設定を Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールに適用します。
- ・ 論理インターコネクトで**グループからのアップデート**を実行して、以前の構成に戻します。

sFlow が有効になっている同一 VLAN 上にあるサーバーの DHCP トラフィックを HPE OneView で受信できない

問題：

インターコネクトモジュールとサーバーの sFlow に同じ VLAN を使用すると、サーバーが DHCP IP アドレスを取得しないため、DHCP ネゴシエーションが禁止されます。これらのサーバーに IP アドレスを静的に割り当てても解決できますが、sFlow に使用される VLAN で静的 IP アドレスを使用することは推奨されません。

推奨処置：

sFlow トラフィックをコレクターに送信するように指定されたイーサネットネットワークが、論理インターコネクタアップリンクセットの一部であり、どのサーバープロファイル接続にも割り当てられていないことを確認します。

カスタマイズされた帯域幅構成が論理インターコネクタ GUI に表示されない

問題：

HPE OneView 論理インターコネクタ GUI は、インターコネクタが次のデフォルト帯域幅を持つ 24 個すべてのダウンリンクポートで構成されている場合、カスタマイズされた帯域幅構成を表示しません。

最小帯域幅構成 = 50% および 最大帯域幅 = 100%。

推奨処置：

推奨されるアクションはありません。

IP アドレスの変更が原因で HPE OneView のデバイスにアクセスできない

問題：

HPE OneView アプライアンスの IP アドレスをサブネット間で変更すると、以前のサブネット内の監視対象デバイスまたは管理対象デバイスにアクセスできなくなります。

推奨処置：

HPE OneView を再起動します。

HPE OneView でサーバープロファイルを正常に削除できない

問題：

HPE OneView で、複数のプロファイルの削除が同時に試行された場合、または HPE OneView アプライアンスの負荷が高い場合、サーバープロファイルを削除できないことがあります。

推奨処置：

サーバープロファイルを削除するアクションを再度実行してください。

注記: 削除アクションを完了できるまで、複数回実行する必要がある可能性があります。

複数のクラスタープロファイルの作成またはインポート後に、整合性確認に時間がかかる

問題：

大規模環境では、複数のクラスタープロファイルを作成またはインポートすると、HPE OneView で多数のハイパーバイザーマネージャーイベントが生成されます。整合性の修復は、チェックを完了してアラートをクリアするのに時間がかかります。

推奨処置：

このような場合は、10 分間待ってから、クラスタープロファイルで操作を実行します。

サーバーのプロファイル設定とサーバーのハードウェア構成との不一致が、リストア、バックアップ、および再イメージ後に報告される

問題：

リストア、バックアップ、および再イメージ後にサーバーハードウェアを更新すると、次の不整合アラートが返されることがあります。

サーバープロファイル設定がサーバーハードウェア構成と競合します。

推奨処置：

1. サーバーの電源を切断します。
2. サーバープロファイルを再適用してください。

ダウンリンク速度が変更されると、構成されたローカルポート監視が機能しなくなる

問題：

Synergy 用 Virtual Connect SE 100Gb F32 モジュールとの論理インターコネクットのダウンリンク速度が変更されると、アナライザーポートとして構成されたダウンリンクポートに関連付けられたローカルポート監視が動作を停止します。

推奨処置：

影響のある論理インターコネクットに構成を再適用してください。

英語以外のディレクトリサーバーのグループ名が一部のブラウザで表示されない

問題：

ディレクトリサーバーが、中国語や日本語など英語以外のグループ名で構成されていて、Microsoft Internet Explorer 11、Firefox 57 以降、または Chrome 64 以降のバージョンのブラウザを使用している場合、中国語または日本語のグループ名を選択した後にグループの追加操作を行っても、構成したグループがリストに表示されません。このことは、Active Directory、または Open LDAP ディレクトリにも当てはまりません。

推奨処置：

Microsoft Edge を使用します。

スキャンツールによって脆弱な SSH 暗号の問題が報告される

問題：

Nessus などのセキュリティ脆弱性スキャンツールによって、HPE OneView の SSH サーバーが、攻撃者による暗号文からプレーンテキストメッセージへの復元が可能になる暗号ブロック連鎖 (CBC) 暗号化をサポートしていると報告されます。

推奨処置：

レポートに誤った情報が表示されます。HPE OneView SSH サーバーは、スキャナーでは検知されない適切な保護を採用しています。

異なる展開ネットワークで別の論理エンクロージャーにサーバープロファイルを移動できない

問題：

OS 展開設定で構成されたサーバープロファイルを別の論理エンクロージャーおよび展開ネットワークに移行すると、展開接続が、新しく選択されたエンクロージャーグループで構成されたネットワークによってアップデートされず、プロファイルアップデートで次のエラーが表示されます。

プロファイルをアップデートできません：プロファイルが OS 展開設定で構成されている場合は、IP アドレスソースは "SubnetPool" にのみ設定できます。

推奨処置：

エンクロージャーグループを変更した後のサーバープロファイルのアップデート操作中に、以下の手順を実行してください。

1. 展開プランの割り当てを解除します。
2. 展開接続を削除します。
3. 展開プランの再割り当てを行います。

ESXi FCoE Boot from SAN

問題：

ESXi 6.0 レガシードライバーを使用して Boot from SAN を実行するときに、ブート対象のサーバーを介した VLAN が削除、リストア、または交換された場合、ESXi サーバーにより SAN へのアクセスが削除されます。

推奨処置：

ESXi サーバーの電源をオンにしてブートするときにアップリンクセットに VLAN をリストアして、SAN へのアクセスをリストアしてください。

HPE OneView は、3PAR および Primera Persistent Ports ペアのさまざまなインターコネクトモジュールへの直接接続をサポートすることができない

問題：

アプライアンスは、3PAR StoreServ または Primera アレイのポートのペアが Persistent Ports のフェイルオーバー用に構成され、エンクロージャー上の 2 つの異なるインターコネクトモジュールに直接接続するようにケーブル接続されているストレージ構成をサポートしていません。

推奨処置：

アレイの Persistent Port 機能を（アレイのすべてのポートで）無効にするか、直接接続ケーブルを変更して、パートナーになっているポートが同じインターコネクトモジュールに接続されるようにします。

HCP をインポートすると、無効な OS 展開プランを設定できる

問題：

ハイパーバイザークラスタープロファイル（HCP）をインポートすると、適切なサーバープロファイルテンプレートに関連付けられたエンクロージャーグループで OS 展開設定が構成されていない場合でも、無効な OS 展開プランを設定することができます。インポートが完了すると、これにより HCP で不整合が報告される結果となります。HCP でこれらの不整合は修正されません。

推奨処置：

HCP をインポートした場合、有効な展開プランを指定するか、展開プランを HCP に適用できない場合は展開プランをなしに指定してください。

注記

HPE Synergy コンポーザーとサポートされるフレーム数

HPE Synergy コンポーザー（第 1 世代）（804353-B21 または 804353-B22）が、HPE OneView 5.2 以降を実行している場合、単一の管理リング内でサポートされる管理対象フレームの数は、最大 12 フレームに制限されます。12 を超えるフレーム数を保持して、HPE Synergy コンポーザー 2（872957-B21 または 872957-B22）にアップグレードできるようにして、サポート対象構成を維持するか、または修復手順について HPE のアカウントチームに連絡することをお勧めします。

セキュリティが強化された HPE Synergy 12Gb SAS 接続モジュールの動作

HPE OneView 5.2 以降は、安全な TLS 通信を実現するために、デフォルトで強力な証明書チェックを実行します。サービスの障害を回避するために、アップグレード手順では、接続モジュールのファームウェアバージョンをチェックします。接続モジュールのファームウェアバージョンが 1.5.xx の最小レベルより低い場合、およびリーフ証明書の期限切れをチェックするオプションが HPE OneView の[セキュリティ]設定で有効になっている場合、HPE OneView はアップグレードプロセスを終了します。

拡張セキュリティチェックをサポートするために、まず SAS 接続モジュールのファームウェアを 1.5.xx にアップデートした後に、HPE OneView 5.2 以降のバージョンにアップグレードすることをお勧めします。

HPE OneView の設定 > セキュリティ画面には、期限切れのデバイス証明書を無視するオプションがあります。このオプションはデフォルトで無効です。

または、HPE OneView を 5.0 以降にアップグレードする前に、設定 > セキュリティを編集し、リーフ証明書の期限切れをチェックするオプションを無効にします。SAS 接続モジュールのファームウェアをアップデートした後、設定 > セキュリティ画面を編集し、リーフ証明書の期限切れをチェックするオプションを再度有効にします。

このオプションが無効になっている HPE OneView アプライアンスの場合、アップグレードは SAS 接続モジュールの最小ファームウェアリビジョンチェックをスキップし、アップグレードの続行を許可します。アップグレード後、接続モジュールのアラートが表示され、強力な証明書チェックを有効にするにはファームウェアアップデートが必要であることが説明されます。このアラートを解消するには、アラートで提案された解決策の手順に従ってください。

注記: アップグレード後に、ファームウェアアップデートを実行してから、リーフ証明書の期限切れをチェックするオプションを有効にすることが重要です。

Google アナリティクスの使用

HPE OneView 4.2 から、Google アナリティクスとの統合機能が導入されました。匿名ユーザーインターフェイスの使用状況データは、ユーザーのブラウザから Google アナリティクスに送信されます。これにより、HPE は製品の使用方法と改善方法を把握できます。Hewlett Packard Enterprise では、個人情報を収集しません。

ユーザーは、HPE OneView エンドユーザーライセンス契約（EULA）に同意するときに、HPE OneView の Google アナリティクスの使用をオプトインします。

EULA には、Hewlett Packard Enterprise のプライバシーポリシー（<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html>）およびデータ収集へのリンク（<https://www.hpe.com/us/en/legal/privacy.html#datacollection>）が含まれており、Google アナリティクスのトラッキングをオプトアウトする方法について説明しています。

HPE OneView の管理者は、設定 > セキュリティ > アクションメニュー > 製品の改善メニューを使用して、Google アナリティクスの追跡をオプトアウトすることもできます。

追加情報：

- ・ 収集される情報は、標準的な Google アナリティクスデータであり、追加されるのは現在使用している HPE OneView のバージョンのみです。
- ・ HPE OneView Global Dashboard も、リリース 1.5 から Google アナリティクスを統合しています。

サポートされる iSCSI ブート構成

次のパラメーターがサポートされています。

- ・ IPv4
- ・ 静的 IP アドレスと DHCP 割当て済み IP アドレス
- ・ SW iSCSI (ソフトウェアイニシエーター) および HW-iSCSI (iSCSI オフロード、ハードウェア支援イニシエーター)

iLO 4 デバイスの管理

iLO 4 を使用するデバイスを管理する場合、HPE OneView 4.0 以降は、iLO 4 ファームウェアバージョン 2.55 以降で最適に動作します。お客様のデバイスに iLO 4 ファームウェアバージョン 2.3x をお持ちの場合は、Hewlett Packard Enterprise は、お持ちの iLO 4 ファームウェアをバージョン 2.55 以降にアップデートしてから HPE OneView 3.0 以降を用いたデバイス管理を開始されることを強くお勧めします。

システムボードの交換

サーバーがメンテナンスのために取り外された場合、ネットワークセキュリティの検証が完了しない場合は、HPE OneView (HPE Synergy 用) の電源がオンになりません。新しいサーバーが取り付けられると、HPE Synergy は同じサーバーと構成が使用されているかどうかをチェックします。元のサーバーの UUID が新しく取り付けられたサーバーの UUID と一致する場合、自動的にサーバーの電源がオンになります。ただし、元のサーバーの UUID が新しく取り付けられたサーバーの UUID と一致しない場合、サーバープロファイルには新しいサーバーが認識されないことを示すエラーが表示されます。同じハードウェアタイプの同じサーバーが取り付けられているが、HPE Synergy によって認識されていない場合は、再度適用と取り付けを行う必要があります。または、新しいサーバーが元のサーバーと一致しない場合、サーバープロファイルを削除し、一致する正しいサーバーを取り付ける必要があります。

システムボードを交換する場合は、サーバーの先端に付いているタグと一致するようにシリアル番号と製品 ID を構成して UUID をアップデートします。UUID をアップデートした後、サーバーを再起動してサーバープロファイルの割り当てを解除します。これにより、サーバーの電源がオンになり、UUID がプログラミングし直して新しいサーバーを受け入れられるようになります。新しいサーバーで POST サイクルが完了すると、サーバープロファイルは新たに取り付けられたサーバーに再び割り当てられます。

詳しくは、[HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用の「サーバープロファイルが割り当てられているサーバーのシステムボードの交換」](#)のトピックを参照してください。

Web サイト

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

<https://www.hpe.com/info/enterprise/docs>

Hewlett Packard Enterprise Worldwide

<https://www.hpe.com/assistance>

サブスクリプションサービス/サポートのアラート

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE OneView のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>

HPE 3PAR StoreServ ストレージ

<https://www.hpe.com/info/storage>

HPE Integrated Lights-Out (iLO)

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

Insight Remote のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightremotesupport/docs>

HPE Primera のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/Primera600-docs>

HPE Insight Control のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/insightcontrol/docs>

HPE OneView Global Dashboard のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/ovgd-docs>

Smart Update (SUM/SPP/iSUT/iSUT) のドキュメント

<https://www.hpe.com/info/sut-docs>

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) の Storage compatibility matrix

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>



HPE Synergy のドキュメントリソース

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

ドキュメント:

以下を提供:

HPE Synergy ソリューション

はじめに	ハードウェアのインストールから HPE OneView の構成まで、HPE Synergy ソリューションの初回セットアップ手順。
リリースノート	HPE Synergy、HPE Synergy イメージストリーマー、HPE OneView などの製品のリリースの説明、新機能、ドキュメントのアップデート、問題と推奨処置。
移行ガイド	HPE Synergy コンポーザーから HPE Synergy コンポーザー 2 への移行、および HPE Synergy フレームリンクモジュールから HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュールへの移行に関する情報。
HPE Synergy アプライアンスのファームウェアの確認 : HPE Synergy アプライアンスの初期セットアップの準備	システムでの初期使用のために HPE Synergy アプライアンスを準備する手順。
Appliances User Guide	アプライアンスのモジュール管理、構成、およびセキュリティの概要。
ケーブル接続ガイド	管理ネットワーク、HPE Synergy イメージストリーマー、インターコネクト、および電源のケーブル接続例。
構成および互換性ガイド	HPE Synergy 管理とファブリックアーキテクチャー、詳細なハードウェアコンポーネントの識別、およびハードウェアコンポーネントの構成要件の概要。
フレームリンクモジュールユーザーガイド	HPE Synergy 4 ポートフレームリンクモジュール、HPE Synergy フレームリンクモジュール、および HPE Synergy 管理コンソールの管理、構成、およびセキュリティに関する情報。
Power Management Overview Guide	HPE Synergy が HPE Synergy 12000 フレームの電力使用量を管理する方法に関する追加の詳細情報。
メンテナンス&サービスガイド	『メンテナンス&サービスガイド』には、HPE Synergy 製品のスペアパーツリストと交換手順が記載されています。これらの製品には、アプライアンスモジュール、コンピュートモジュール、ストレージモジュール、インターコネクトモジュール、および HPE Synergy 12000 フレームが含まれます。
トラブルシューティングガイド	一般的な問題を解決するための情報、および障害の分離と特定、問題の解決、およびメンテナンスのための一連のアクション。
エラーメッセージガイド	特定のエラーメッセージに関連する問題を解決するための情報。
ドキュメントマップ	必要な HPE Synergy ドキュメントをフィルタリングして見つけるための説明マップ。

表は続く

ドキュメント:	以下を提供:
用語集	製品の理解と、HPE Synergy エコシステムの習熟に役立つ用語、説明、および図面。
HPE Synergy イメージストリーマ	
展開ワークフロー	OS 展開用の HPE Synergy イメージストリーマのセットアップに関連するさまざまな手順のインタラクティブな説明、および手順の詳細な指示を含むさまざまなドキュメントへの参照。
サポートマトリックス	HPE Synergy イメージストリーマに関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイド	HPE Synergy イメージストリーマを使用した OS 展開プロセス、HPE Synergy イメージストリーマの機能、および HPE Synergy イメージストリーマアーティファクトの目的とライフサイクル。また、HPE Synergy イメージストリーマの認証、権限付与、およびトラブルシューティングに関する情報も含まれます。
GitHub	サンプルアーティファクトと、サンプルアーティファクトの使用法に関するドキュメントが含まれるレポジトリ (github.com/HewlettPackard)。また、HPE Synergy イメージストリーマを使用して実行できる展開手順について説明するテクニカルホワイトペーパーも含まれます。
ヘルプ	HPE Synergy イメージストリーマの基本的な概念とユーザーインターフェイススペースのタスクに関する情報。
HPE OneView (HPE Synergy 用)	
サポートマトリックス (HPE Synergy 用)	HPE OneView に関する、ソフトウェアおよびファームウェアの最新要件、サポート済みハードウェア、および最大構成。
ユーザーガイドおよびヘルプ (HPE Synergy 用)	リソース機能、プランニングタスク、クイックスタートタスクの構成、グラフィカルユーザーインターフェイスのナビゲーションツール、および HPE OneView のサポートと参照情報。
Global Dashboard のユーザーガイドおよびヘルプ	HPE OneView Global Dashboard のインストール、構成、ナビゲーション、およびトラブルシューティングについての説明。
HPE Synergy のトラブルシューティングガイド	HPE Synergy Composer に組み込まれている HPE OneView の一般的なトラブルシューティング手順。
エラーメッセージガイド	特定の HPE OneView エラーメッセージに関連する問題を解決するための情報。
トラブルシューティングの資料	ツール、オンラインヘルプ、トラブルシューティングガイド内のトラブルシューティング画面。

HPE Synergy ファームウェアアップデートリソース

HPE OneView (HPE Synergy 用) : 以下を提供 :

ファームウェアおよびドライバーのアップデートガイド
 ファームウェアおよびドライバーをアップデートするための推奨のベストプラクティスに関する情報。



HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ファームウェアアップデート情報のインタラクティブリソースを提供します。HPE Synergy ファームウェアアップデートリソースは、HPE OneView 内でも利用できます。

図 1: HPE Synergy ソフトウェアリリース情報

HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト : 以下を提供 :

Overview	ダウンロードページおよび関連する Synergy カスタム SPP へのリンクが記載された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせのリスト。
What's new	HPE Synergy リリースの新機能のリスト。
Firmware Comparison Tool	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用する HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせリスト。このツールは、以前の管理ソフトウェアの組み合わせと互換性があるカスタム SPP を確認する場合にも役立ちます。
Firmware Feature Table	選択された HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせによってサポートされる HPE Synergy カスタム SPP を比較するために使用するファームウェア機能のリスト。
Upgrade Paths Table	HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
VMware OS Support	VMware vSphere OS を HPE Synergy カスタム SPP で使用するための情報と要件。

表は続く



HPE Synergy ソフトウェア リリース情報サイト 以下を提供 :

Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases	過去の HPE Synergy コンポーザーと HPE Synergy イメージストリーマーのアップグレードパス、および HPE Synergy 管理ソフトウェアの組み合わせに関する情報。
Identifying Upgrade Paths	アップグレードパス表の使用方法に関する情報。
HPE Synergy Resources	HPE Synergy の主要なリソースのリスト。
Hewlett Packard Enterprise Information Library	すべての HPE Synergy 製品ドキュメントのソリューションレベルライブラリ。



HPE Synergy ドキュメントの概要 (ドキュメントマップ)

Hewlett Packard Enterprise Information Library (<https://www.hpe.com/info/synergy-docs>) では、インストール手順書、ユーザーガイド、メンテナンスおよびサービスガイド、ベストプラクティス、追加リソースへのリンクなど、すべての HPE Synergy ドキュメントを包括的に 1 箇所に集めたライブラリを提供します。ライブラリは、検索性を向上させるフィルタリングをサポートしています。

さらに、HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト (<https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information>) では、ソフトウェアリリース情報のインタラクティブリソースを提供します。

ソフトウェアリリース情報	管理
<ul style="list-style-type: none">・ HPE Synergy Software releases - Overview・ HPE Synergy Software releases - What's new・ HPE Synergy Firmware Comparison Tool・ HPE Firmware Feature Comparison Table・ HPE Synergy Upgrade Paths・ VMware OS Support Tool for HPE Synergy・ Upgrade Paths for Past HPE Synergy Releases・ Identifying Upgrade Paths・ HPE Synergy Resources	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView ユーザーガイド (HPE Synergy 用)・ HPE Synergy イメージストリーマーヘルプ・ HPE Synergy イメージストリーマーユーザーガイド・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス・ HPE Synergy イメージストリーマー展開ワークフロー・ HPE Synergy フレームリンクモジュールユーザーガイド
プランニング	監視
<ul style="list-style-type: none">・ HPE Synergy 移行ガイド・ HPE Synergy 12000 Frame Site Planning Guide・ HPE Synergy 構成および互換性ガイド・ HPE OneView (HPE Synergy 用) サポートマトリックス・ HPE Synergy イメージストリーマーサポートマトリックス・ Setup Overview for HPE Synergy・ HPE Synergy Software Overview Guide	<ul style="list-style-type: none">・ HPE OneView ユーザーガイド (HPE Synergy 用)・ HPE OneView Global Dashboard ユーザーガイド

表は続く



ハードウェアの取り付け

- ・ HPE Synergy はじめに (フレームに付属)
- ・ HPE Synergy 12000 フレームセットアップ/インストールガイド
- ・ HPE ラックレールインストール手順 HPE Synergy 12000 フレーム用 (フレームに付属)
- ・ HPE Synergy 12000 Frame Rack Template (フレームに付属)
- ・ フードラベル
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ケーブル接続ガイド
- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用 — ハードウェアセットアップ

メンテナンス

- ・ Product maintenance and service guides
- ・ HPE OneView for HPE Synergy Firmware and Driver Update Guide
- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用
- ・ HPE OneView ユーザーガイド (HPE Synergy 用)
- ・ HPE Synergy Appliances Maintenance and Service Guide

管理および監視の構成

- ・ HPE OneView ヘルプ HPE Synergy 用
- ・ HPE OneView ユーザーガイド (HPE Synergy 用)
- ・ HPE OneView API リファレンス HPE Synergy
- ・ ユーザーガイド
- ・ HPE Synergy ソフトウェアリリース情報サイト

トラブルシューティング

- ・ HPE OneView アラートの詳細
- ・ HPE Synergy トラブルシューティングガイド
- ・ HPE ProLiant Gen10 サーバーおよび HPE Synergy エラーメッセージガイド
- ・ HPE ProLiant Gen10 および HPE Synergy 用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイド
- ・ HPE OneView API リファレンス HPE Synergy
- ・ HPE Synergy の HPE OneView トラブルシューティングガイド
- ・ HPE OneView エラーメッセージガイド
- ・ HPE Synergy イメージストリーマー API リファレンス



HPE OneView Remote Technician

HPE OneView Remote Technician を使用すると、問題のトラブルシューティングおよび解決のサポートが迅速かつ容易になります。招待により、認証された Hewlett Packard Enterprise サポート技術者が、問題のトラブルシューティングと診断に安全な TLS 接続を通じて HPE OneView アプライアンスにアクセスします。サポート技術者はログを直接ダウンロードし、FTP サイトを使用する必要はありません。サポート技術者が問題を診断する間、現場にいる必要がありません。

HPE OneView Remote Technician は、追加のアプリケーションなしで HPE OneView 4.1 以降に組み込まれています。



サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<https://www.hpe.com/support/downloads>

My HPE Software Center

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示、アップデート、または契約や保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページに移動します。



- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート（HPE 通報サービス）

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE データセンターケアサービス

<http://www.hpe.com/services/datacentercare>

HPE プロアクティブケアサービス：サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス：サポートされている製品のリスト

<https://www.hpe.com/jp/ja/services/proactive-care-central.html>

保証情報

ご使用の製品の保証情報を確認するには、以下のリンクを参照してください。

HPE ProLiant と IA-32 サーバーおよびオプション

<https://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE Enterprise および Cloudline サーバー

<https://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<https://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<https://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。このメールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。

